

「小規模事業者持続化補助金」の追加公募が始まっています

上記補助金の概要は以下のとおりです。追加公募では6000件程度の採択を予定しているとのこと。挑戦していきましょう。

小規模事業者持続化補助金（2016年度第2次補正予算）	
対象者	＊卸売業、小売業、サービス業 （宿泊・娯楽業以外） 従業員5人以下 ＊サービス業のうち宿泊業・娯楽業、製造業その他 従業員5人以下 ※個人、法人は問わない
金額	上限50万円、補助率2/3 ※賃上げ、雇用対策、海外展開、買物弱者対策 上限100万円 ※複数の事業者が連携した共同事業 上限500万円
要件	商工会議所等の認定
手続	①事業計画策定 ②地域の商工会議所又は商工会が認定 ③応募一実査・採択・通知 ④交付申請－交付決定 ⑤完了報告－確定検査・補助金交付
対象経費	①事業遂行に必要なものと明記できる経費 例) チラシの作成・配布、HP作成、店舗の改装、展示会への出展、新商品の開発など ②交付日決定以降に発生し対象期間中に支払が完了した経費 ③証拠資料等しによって支払金額が確認できる経費 機械設置等費、広報費、展示会等出展費、旅費、開発費、資料購入費、雑役務費、借料、専門家謝礼、専門家旅費、委託費、外注費 ※車両購入費（買物弱者対策事業の場合のみ）
事業計画審査項目	企業概要、現状分析/SWOT分析、市場の動向、自社の強み、経営方針・目標と今後のプランなど
応募申請	・2017年4月14日～2017年5月31日 ・郵送のみ（当日消印有効） ・日本商工会議所
備考	＊公募要領－全国商工会連合会HP http://h28.jizokukahojokin.info/ippan/

支部総会で討議を進めています

4月は下旬から、各支部で定期総会が開かれています。支部定期総会では本部の総会方針案を読み合わせ、支部方針を確認し、討議を進めています。支部総会にはお忙しい中、府議会議員の石川たえさん、日本共産党大阪7区国政対策委員長の村口久美子さん、日本共産党の吹田市議会議員団の皆さんが来賓として駆けつけていただいています。



江坂東支部総会の参加者は10名でした。村山さんが一年ぶりに参加したこと、みなさんから激励の言葉が出されました。参加者からは、トランプ大統領になって情勢が急激に変化したことがだされました。また平和憲法を持つ日本は絶対に戦争に加担してはいけないという意見も出ました。若手会員からは青年部の活動を再開するため焼肉大会をするので協力してほしいという意見も出されました。自分の孫が保育園に入れないという事態からもっと保育園を増設すべきで、アベノミクスは間違っているのではという意見も出ました。そして昨年できなかったレクリエーションを今年は開催することにしていきます。食事をしながら忌憚のない意見交換をしました。

千里山支部総会には10名の参加で開かれました。本部総会の方針案の議論では、北朝鮮問題では武力で解決するのではなく話し合いで解決すべきだとの意見が出され、いたずらに不安を煽るのではなしに冷静な対応が必要だと強調されました。またある会員さんからは、社会保険料の負担が重くなっている、廃業に追い込まれている中小企業も出てきていることが紹介され、国の援助の必要性が出されました。相談活動では事務局に対する率直な意見が出されました。相談に迅速に動いてほしい。親身に相談に乗ってほしいなどです。すぐに改善することにしました。その後、決算・予算や新役員体制が提案され承認されました。



片山支部定期総会には11名の会員が集まりました。本部総会の議案書を読み合わせての意見交換では、「建設現場では職人が集まって仕事をやるなか、扱いによっては凶器になる道具もある。共謀罪が創設されれば、他人ごとではない。廃案にしないといけない。」元看護師の立場から、戦争法を実行させない運動が大切だと感じている。戦争が起きれば看護師は兵士をもう一度戦わせるために医療を施すことになる。そんなことはあってはならない。」と情勢への意見がありました。民商の活動については「調査を受けた会員が仲間を増やしてくれたいと聞いてとてもうれしい。こういうことが増えていくことが大切。」との意見も出ました。